

●『感性認知脳科学への招待』

編者：筑波大学感性認知脳科学研究プロジェクト

発行：筑波大学出版会／2013 年 9 月

価格：本体 2,800 円＋税

判型：21cm、199 頁

ISBN：978-4-904074-28-2



【内容紹介】

本学人間総合科学研究科感性認知脳科学専攻に所属する教員 17 名により執筆された「感性認知脳科学への招待」が、2013 年 9 月に筑波大学出版会より出版されました。表紙の CG デザインは本専攻の学生による作品であり、芸術と脳科学・行動科学の融合が表現されています。この CG は毎年、専攻説明会告知用ポスターにも使われていますので、どこかでご覧になった方も多いのではないのでしょうか。

「感性って何?」「ここはどこにあるの?」。誰もが抱くこうした人間のこころに関する本質的な疑問は、既存の縦割り方の学問体系では到底解明できないと考え、2001 年、芸術・心理・障害・医学にそれぞれ研究基盤をもつ教員の画期的な異分野横断型組織構成による感性認知脳科学専攻が生まれました。その後、2003 年に 21 世紀 COE 拠点形成プログラム「こころを解明する感性科学の推進」が採択され、本学の代表的な研究・教育組織の一つとして先導的な役割を担ってきました。さらに 2006 年には「魅力ある大学院教育」イニシアティブ事業として、“先導的・国際的な「こころ」の科学者の育成”プログラムが採択され、感性科学、行動科学、神経科学の分野横断的、領域融合型教育組織という本専攻の特色を活かして、従来、人文科学、医学に分割されてきた心理学と脳科学とを融合させた基礎研究と、感性情報学や精神機能障害学といった応用分野の実践研究とのつながりを明確に理解できる教育を実践してきました。本書では、これまでに本専攻で行われてきた研究と教育の成果について、基礎から応用にわたって平易に解説されています。

【編著者紹介】

山田一夫（筑波大学心理学域准教授）他

【執筆者紹介】

小川園子（筑波大学心理学域教授）、宇野彰（筑波大学障害科学域教授）、加藤克紀（筑波大学心理学域准教授）、宮本信也（筑波大学障害科学域教授）、一谷幸男（筑波大学心理学域教授）他